

近畿大学病院看護部の 105 病棟で治療を受けた患者様・ご家族の皆様へ

近畿大学病院看護部 105 病棟（以下、当病棟）では、「高齢がん患者における転倒転落リスク予測モデルの構築と病棟看護師の業務効率化への応用」という臨床研究を行っています。そのため、105 病棟にご入院された患者様の診療情報を使用させていただきますので、以下の内容を確認してください。なお、この研究は、近畿大学病院看護部研究委員会で審査・承認を受け、病院長による実施の許可を受けて行われます。

① 試料・情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）

この研究では、65 歳以上の固形がん患者の転倒・転落の入院時までの情報により、転倒リスクの高い患者を予測するモデルを作成し、ハイリスクの要因を検討することを主な目的としています。そのため、当病棟でご入院された患者様のうち、高齢のがん患者様および非がん患者様を対象として、診療情報のみを研究に利用します。利用する情報は、患者様個人が特定されないようにし、個人情報に関しては厳重に管理します。なお、それらの情報を他の機関へ提供することはありません。

② 利用し、又は提供する試料・情報の項目

近畿大学病院の腫瘍内科、泌尿器外科の 105 病棟に入院歴のある 65 歳以上の固形がん患者を対象とします。2022 年 4 月～2024 年 4 月の期間に入院した 65 歳以上のがん患者を転倒歴あり 45 例、転倒歴なし 45 例をランダムに選定し、入院時に取得できるデータを説明変数候補として電子カルテから情報収集します。また、同時期に入院した 65 歳以上の非がん患者 90 例（転倒歴あり 45 例、無し 45 例）をランダムに選定し、電子カルテから情報収集します。電子カルテの診療記録から、即時入院の有無、年齢、性別、過去 1 年間の転倒歴の有無、入院中の転倒歴の有無、転倒時のせん妄の有無、入院時のせん妄の有無、せん妄のリスク ICDSC、せん妄ハイリスク薬、長谷川式簡易知能評価スケール（修正版）、介護認定、認知機能の低下の有無、認知症の有無、入院時の転倒転落スコア、診療科、がん種、転移の有無、骨転移の有無、stage、performance status、性別、身長、体重、BMI、治療の種類、麻薬の使用の有無、降圧剤使用の有無、向精神薬の使用の有無、排尿・排便薬の使用の有無、がん性疼痛の有無、末梢神経障害の有無、神経障害性疼痛治療剤の有無、入院時の看護必要度、パス適応の有無、irAE の有無、治療の種類、糖尿病の有無、在院日数等のデータを収集します。

なお、当該試料・情報の取得の方法は、以下のとおりです。

該当期間に入院している患者様の電子カルテより、研究代表者がデータ収集を行います。研究協力者は、研究代表者が収集したデータを再度データ収集し、ダブルチェック機能を果たすことでデータの信頼性を保証します。

③ 利用又は提供を開始する予定日

2022年4月～2024年4月

④ 利用する者の範囲

105病棟の共同研究者として105病棟スタッフ、大西晴江、北本智美、研究協力者として、腫瘍内科林秀敏、泌尿器外科藤田和利、ゲノム生物学教室西尾和人

⑤ 試料・情報の管理について責任を有するものの氏名又は名称

近畿大学病院 病院長 東田有智

⑥ 研究対象者等の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用又は他の研究機関への提供を停止する旨

この研究では、患者様・ご家族様の診療情報が利用されることに同意できず、拒否されたい場合には、下記の方法により、いつでもその利用を停止することが可能です。また、利用の停止を受け付けた場合でも、その後の診療において一切の不利益を受けることはありません。ただし、利用又は提供開始日より3ヶ月が経過した時点以降にお申し出いただいても利用を停止することはできませんのでご了承ください。

⑦ ⑥の研究対象者等の求めを受け付ける方法

下記までご連絡ください。なお、この研究に関するすべてのお問い合わせについて、下記で受け付けます。

[お問い合わせ先]

近畿大学病院看護部 105病棟 (柏田孝美)

電話：072-366-0221 (内線：8195)

以上